



### 医療法人 桃蹊会 菅野医院

〒979-2702

相馬郡新地町谷地小屋字萩崎61-1

TEL : 0244-63-2388

「キビタン健康ネット 利用施設の声」の第3回目は、医療法人桃蹊会 理事長 菅野正彦先生にお話を伺いました。菅野医院では、正彦先生の専門である乳腺外科と、副院長の良恵先生の専門である婦人科を中心に、子供から高齢の方まで、幅広い患者さんが来院されています。新地町の方々の基本的な診療を行うことをモットーとして開業された菅野先生ですが、今では基本的な診療に加え、専門である乳癌に関して精度の高い検診を行い、相馬の地域医療に貢献したいという気持ちで診療を行っているそうです。

相馬地区には、「キビタン健康ネット」の一部として「bmic-ZR」(ビーミックゼットアール)という多職種連携のシステムが導入されています。今回は、この「bmic-ZR」を中心にお話を伺いました。

◇「キビタン健康ネット」や「bmic-ZR」を診療の中でどのように使っていますか。

「キビタン健康ネット」は、病院に紹介した患者さんや、私が嘱託医をしている特別養護老人ホームに入所している患者さんの情報を見るために使っています。老人ホームのスタッフが説明して患者さんのご家族から同意を取得し、当院で情報を確認しています。

「bmic-ZR」は、訪問看護や老人ホームの看護師との連携のためにほぼ毎日使っており、診療に欠かせないツールになっています。老人ホームのスタッフが医師へ相談したい時に随時「bmic-ZR」へ入力し、私は手が空いた時間に内容を確認して返事や指示をしています。「bmic-ZR」導入前は、患者さんの情報を電話で聞き取り、メモを取った後で電子カルテに記入していたのでミスが起こる可能性があったのですが、導入後は一人一人の患者さんについての情報が正確に伝わり、記録として後から見返すこともできるので非常に役に立っています。また記入された内容をコピー&ペーストで電子カルテに転記すること

## キビタン健康ネット 利用施設の声

## 第3回



ができるのでとても楽になりました。初めは「bmic-ZR」の導入に抵抗があったスタッフもいましたが、使ってみたら楽になったと言っています。電話と違い、相手の状態を気にせずいつでも入力して医師に報告することができるので、安心感につながり、老人ホームと嘱託医との垣根が低くなったように感じますね。現場にとって大事なツールだと思います。

当院では扱う情報に合わせて、「キビタン健康ネット」、電子カルテ、「bmic-ZR」、SNSと4段階でシステムを使い分けており、患者さんに関係のない連絡事項等は、SNSでやりとりしています。多職種連携ではセキュリティが保たれている「キビタンケアネットサービス」や「bmic-ZR」のようなソフトを、地域で統一して使用すると良いと思います。

## ◇同意書はどのように取得していますか。

当院では、私から直接患者さんに「キビタン健康ネット」について説明することはほぼ無く、スタッフから説明し同意を取得しています。拒否されることはなかったと思います。

老人ホームではスタッフが全て説明し、患者さんのご家族から同意を取得しています。

## ◇「キビタン健康ネット」をどのように活用していきたいですか。

私としては、できるだけ多くの患者さんに「キビタン健康ネット」へ入ってもらいたいです。患者さんが増えることでデータ量も増え、薬剤情報等について今よりもっと活用できると思います。そのためにもまずは、「キビタン健康ネット」未加入の診療所に加入していただき、患者さんに「キビタン健康ネット」の参加呼びかけを行ってほしいと思います。新地町では、イベントで「キビタン健康

ネット」のブース出展や、役場等にリーフレットを配置してもらうなど行政の協力がありますが、協議会にも新規入会案内や県民への周知を引き続き行ってほしいですね。

## ◇今後、どのようなことを期待していますか。

ログイン方法や画面の見やすさを改善することで、使い勝手を良くしてほしいです。例えば、ID-Linkで患者さんの最新データが自動的に上がってくると、もっと見やすくなると思います。

私の希望としては、県立医科大学病院の情報を見たいですね。医大に紹介した患者さんが戻ってくることもあるので、治療の経過やCTなどのデータが確認できると助かります。また、「キビタン健康ネット」上では電子的に紹介状などのやり取りができますが、多くの医師に医師資格証を持ってもらうことで、電子的なやり取りが一般化されるといいですね。

「キビタン健康ネット」は全県のネットワークですが、当院には宮城県からも患者さんが来るので、宮城県の医療情報連携ネットワーク「MMWIN」とも早く連携してほしいです。



理事長 菅野 正彦 先生

菅野先生ありがとうございました。

(レポート 樺澤)

